

2021年4月23日

各位

十六フィナンシャルグループの 「グループ経営理念」「経営計画骨子」について

株式会社十六銀行（頭取 村瀬 幸雄）は、株主総会の承認および必要な関係当局の認可等が得られることを前提として、2021年10月を目途に持株会社体制への移行を検討しております。先般、持株会社の商号「株式会社十六フィナンシャルグループ」（以下「十六フィナンシャルグループ」といいます。）ならびにシンボルマークを公表いたしました。このたび、「グループ経営理念」と「経営計画骨子」の概要が固まりましたのでお知らせします。

なお、持株会社体制の具体的な内容等につきましては、引き続き検討しており、その詳細は決定次第ご案内します。

記

1. グループ経営理念（予定）

「グループ経営理念」は、十六銀行の基本理念を受け継ぎ、十六フィナンシャルグループにおける基本的な精神として、全役職員の活動のよりどころとするものであり、「私たちの使命」、「私たちのめざす姿」、「私たちの価値観」から構成されます。また、これを実践していくための役職員の具体的な行動を「私たちの行動基軸」とします。

私たちの使命である「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」には、これまでの伝統と信頼をもとに、これからはなくてはならない存在として、お客さまと地域に寄り添い、持続的な成長と豊かな未来の実現に貢献していくという決意を表しています。

【グループ経営理念 概念図】



人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

2. 経営計画骨子（予定）

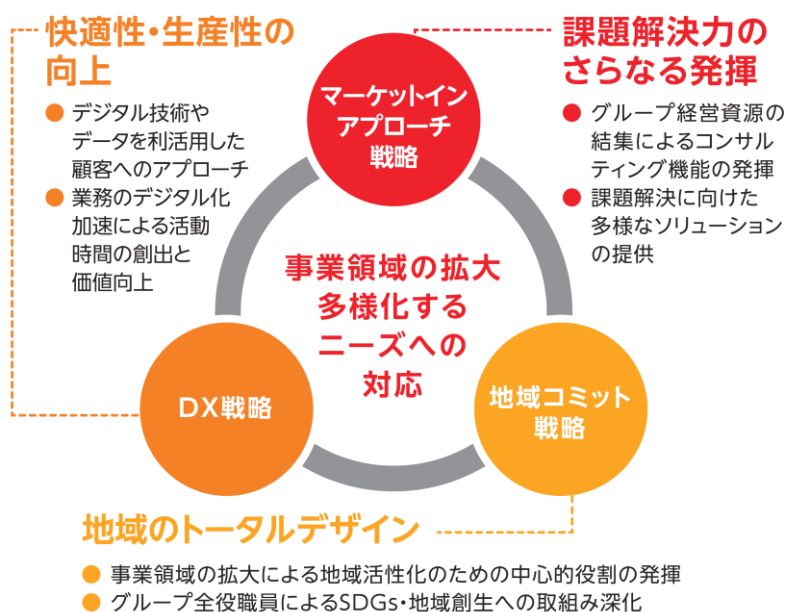
（１）計画の位置付け

十六フィナンシャルグループは、２０２１年１０月から２０２３年３月を期間とする第１次中期経営計画を策定する予定です。「事業領域の拡大」と「多様化するニーズへの対応」を成長ドライバーとする３つのグループベース戦略によりグループシナジーを最大化し、「ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ」を目指します。

（２）グループベース戦略

十六フィナンシャルグループは、グループ全役職員の意識・行動改革をはかるとともに、十六銀行が保有する営業基盤、情報等をグループ全体で最大限に活用することで、３戦略の取組みを加速します。

【グループベース戦略 概要図】



以 上

【本件ご照会先：経営企画部 広報・IR室 TEL ０５８－２６６－２５１１】

十六フィナンシャルグループの 「グループ経営理念」「経営計画骨子」について

2021年4月23日



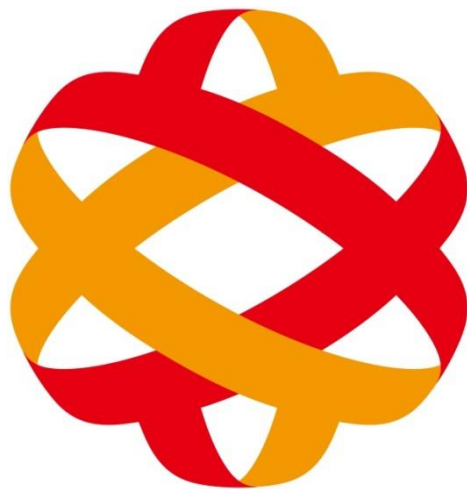
持株会社の商号とシンボルマーク

【持株会社の商号】

株式会社十六フィナンシャルグループ（英文名：Juroku Financial Group, Inc.）

十六フィナンシャルグループ

【持株会社のシンボルマーク】



シンボルマークコンセプト

3つのリングはそれぞれ、
人のつながり、地域のつながり、グループのつながりから生まれる、
あたらしい輪(=和)を表現。

また、交差する部分の「十」と周囲の「六」つの頂点には、
3つの輪が結びつき、絆となって共鳴しあうことで、
ともに未来を創り、持続的に成長していく
という願いを込めています。

また、マークの赤色は積み重ねてきた「歴史」と「伝統」を、
オレンジ色は、未来へふみ出す「挑戦心」と「躍動感」を表しています。

【グループポリシー】

人と、地域と、未来をむすぶ

みなさまと地域のつながりや絆を、これからもたいせつに。
十六フィナンシャルグループは、人と、地域と、未来をむすびます。

グループ経営理念

「グループ経営理念」は、十六銀行の基本理念を受け継ぎ、十六フィナンシャルグループにおける基本的な精神として、全役職員の活動のよりどころとするものであり、「私たちの使命」、「私たちのめざす姿」、「私たちの価値観」から構成されます。また、これを実践していくための役職員の具体的な行動を「私たちの行動基軸」とします。



人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

グループ経営理念

私たちの使命 (mission)

「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」

私たちは、伝統と信頼をもとに、金融を通じて皆さまと向き合い、歩んできました。
これからもなくてはならない存在として、お客さまと地域に寄り添い、
持続的な成長と豊かな未来を実現していくこと。
それが、十六フィナンシャルグループの使命です。

私たちのめざす姿 (vision)

「ともに地域の未来を創造し、

ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ」

私たちは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、
「ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ」
を目指します。

私たちの価値観 (value)

信頼と倫理観 (Trust & Integrity)

私たちは、お客さまや地域の皆さまに信頼され、選ばれ続けるために、高い倫理観をもって行動します。

創造と革新 (Creation & Innovation)

私たちは、たゆまぬ革新と挑戦でいかなる変化にも対応し、次の時代につながる新たな価値を創造します。

多様性と受容 (Diversity & Inclusion)

私たちは、互いに個性を認め合い、多様な能力を活かすことで、グループの力を最大限に発揮します。

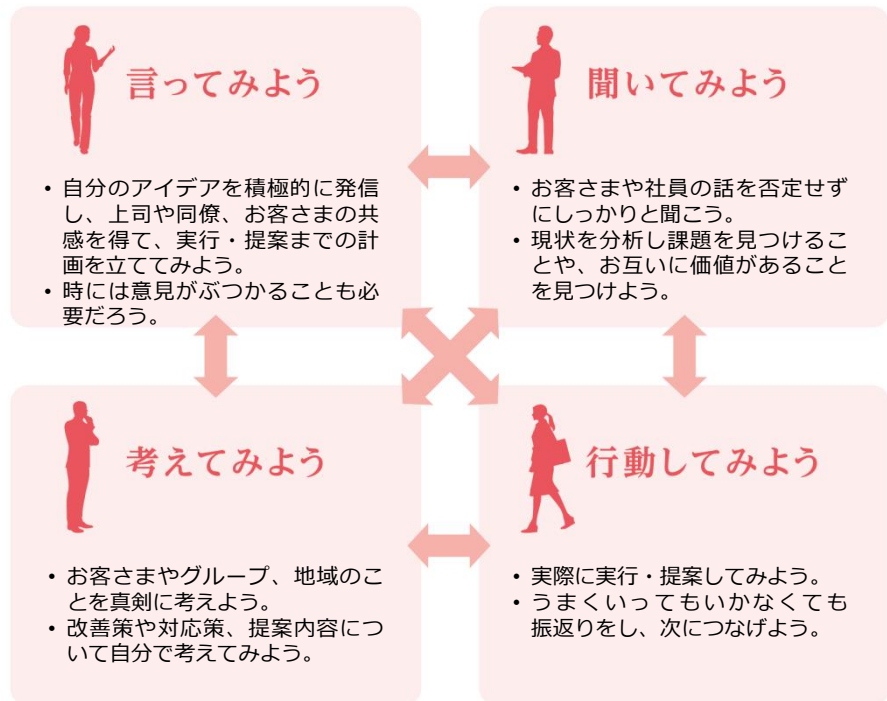
行動基軸

十六フィナンシャルグループは、私たちの強い意志と決断により、未来に向かい、「エンゲージメントサイクル」をまわし続けることを、全役職員の行動基軸とします。

私たちの行動基軸 (code of conduct)

エンゲージメントサイクル

お客さまや地域の課題に向き合い、ともに解決していく行動



～とともに(with)



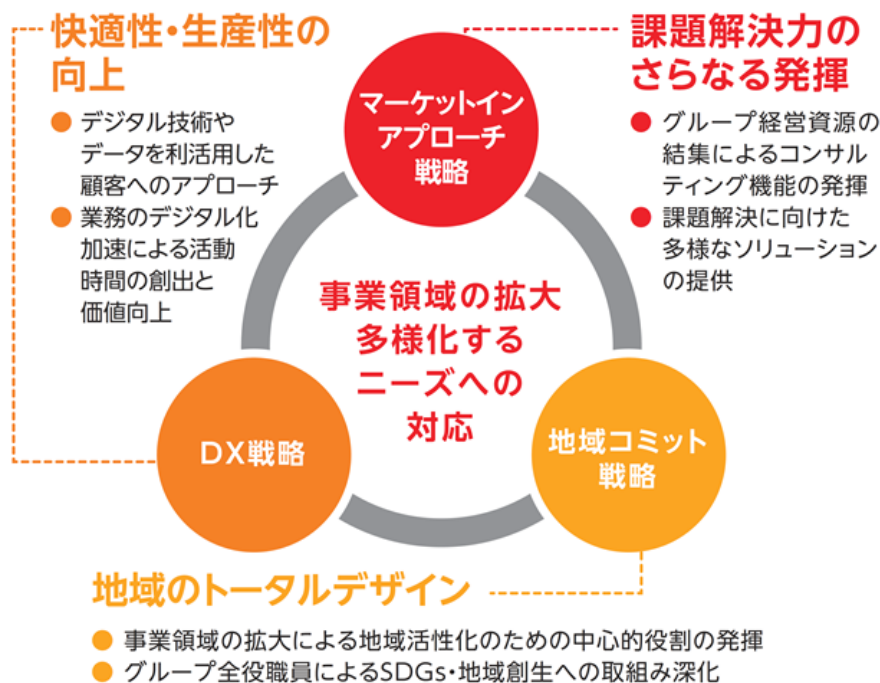
私たちは、お客さまならびに地域とのエンゲージメントを大切にし、その考え方を「～のために(for)」から「～とともに(with)」へと進化させてきました。

2020年4月からスタートさせた十六銀行の第15次中期経営計画においては、4つの基本姿勢「言ってみよう」「聞いてみよう」「行動してみよう」「考えてみよう」を常日頃から心がけ、全てのステークホルダーと積極的に意見を交わし、「エンゲージメントサイクル」をまわし続けることを行動基軸としています。

経営計画骨子(計画期間:2021年10月～2023年3月)

十六フィナンシャルグループは、「事業領域の拡大」と「多様化するニーズへの対応」を成長ドライバーとする3つのグループベース戦略によりグループシナジーを最大化し、「ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ」を目指します。

【グループベース戦略 概要図】



● マーケットインアプローチ戦略 ～課題解決力のさらなる発揮～

マーケットインの発想をもとに、グループの経営資源を結集しコンサルティング機能を発揮するとともに、課題解決に向けた多様なソリューションを提供することで、お客さまや地域との共通価値を創造していきます。

● DX戦略 ～快適性・生産性の向上～

グループ内外のアライアンス等によりデジタル技術やデータを活用し、お客さまへのアプローチを行うとともに、業務のデジタル化の加速により活動時間を創出することで、役職員の付加価値の高い活動につなげます。

● 地域コミット戦略 ～地域のトータルデザイン～

持続可能な社会の実現に向けて、グループ全役職員によるSDGs・地域創生への取組みを深化させるとともに、事業領域の拡大により営業基盤である岐阜県・愛知県の地域活性化のための中心的役割を発揮します。

人と、地域と、未来をむすぶ



十六フィナンシャルグループ